



京都国立博物館と三十三間堂・智積院・豊国神社の参観 報告

今回はまだお正月の雰囲気漂う 京都東山 三十三間堂（蓮華王院）界隈を巡りました。 （担当 B グループ）

1:日 時 2025 年1月 9 日(木) 天気 晴

2:集 合 京阪七条駅 改札口 10:20

3:参加者 23 人

4:行 程 10:20 京阪七条駅を出発



三十三間堂

10:30 三十三間堂（蓮華王院）

建物の長さ 120 メートル。内部は 1,000 体の「十一面千手千眼観世音」が整然と立ち並び中央にはひと際大きな 1 体の座像。すべてがご本尊。それら観世音と信者を護る二十八部衆像、両端に位置する風神、雷神全てが国宝である。表現が悪いが国宝の缶詰だ！参拝する私たちが 1001 体の眼差しを一斉に受けると煩惱などは吹っ飛んでしまいそうな空間であった。1/12 には建物西側軒下で「弓の引き初め」が行われる。

11:40 智積院

真言宗智山派の総本山。大書院、講堂を見学。長谷川派によって描かれた極彩色の障壁画や名勝庭園を鑑賞。秋に訪れれば庭園の紅葉がとても美しいとのこと。

12:30 昼食

博物館横のガラス張りの温かいカフェ前田珈琲で昼食。前菜、デザート付きのランチをいただく。テーブルごとで歓談しながらの楽しいひと時であった。



カフェで昼食

13:30 京都国立博物館

レンガ造りの洋風建物（旧帝国京都博物館本館）は免震改修の基本計画を進めるため閉館中。平成知新館では名品ギャラリーで窯跡出土陶片、土器、須恵器、縁起絵巻物、屏風絵、掛け軸、仏像神像、僧侶の書、名刀などを鑑賞。あらためて古都の文化財のすばらしさを感じることができた。フロアごとに係員が禁止事項の周知看板をもって立っているので普通に会話するのもはばかれた。

14:45 豊国神社

神号「豊国大明神」を下賜された豊臣秀吉を祀る。かつては東山阿弥陀ヶ峰にあったが豊臣氏滅亡後、徳川幕府の命で廃祀された。時代が変わり明治天皇の祭祀復興の命により 1880 年方広寺大仏殿跡地に社殿が造営され再興した。唐門は国宝。今年の無事と平安を願い参拝

14:55 方広寺(大仏殿跡)

豊臣秀吉が発願した大仏を安置するための寺として 1592 年に創建された天台宗の寺。
大阪の陣のきっかけとなったといわれる鐘の銘文「国家安康」「君臣豊楽」を観る。
大仏殿跡とされている公園へ向かう。文献記録によれば、大仏は高さ 6 丈 3 尺(約 19m)とされ、東大寺(14.7m)を上回り、大仏としては日本一の高さを誇っていたという。見たかったなあ・・・

15:10 大仏殿跡で解散 池田孝雄さん段取り、案内ありがとうございました。 （案内 池田孝 /記録 秦）



智積院 大書院にて



豊国神社 唐門前